

# リスクアセスメント実施報告書

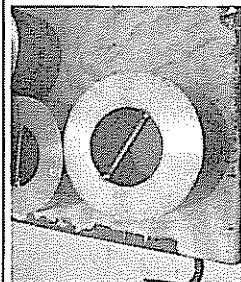
05.01.24  
メンバー

リーダー	書記	発表者

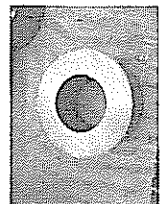
## ボンディング作業

リスクアセスメント実施結果

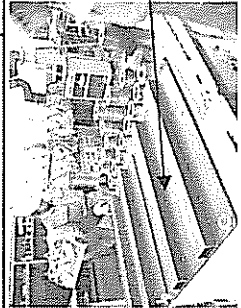
No	作業手順	作業区分 正常/ 非常	災害に至るプロセス ～なので、～して、～(事故の型)になる	リスク評価(現状)				リスク低減対策	対策後のリスク評価(予測)				優先順位		
				危険に 近づく 頻度	けがの 可能性	けがの 程度	リスク ポイント		リスク レベル	危険に 近づく 頻度	けがの 可能性	けがの 程度		リスク ポイント	リスク レベル
1	ホットプレートのリフターを上昇させた状態でターゲットをナイロンリングで玉掛けし乗せる	正常	ナイロンリングが高温化で溶けターゲットが落下する	4	1	3	8	II	ホットプレート上に断熱シートを敷く	4	1	3	8	II	
2	ターゲット上に重りを乗せる	正常	重りが滑り易いので手から落下し足元に落ちる	4	2	6	12	III	・重りの中央に取っ手を付け持ちやすくした。	4	1	1	6	I	指が入るよう改善する事
3	バックアッププレートに玉掛けしホットプレート上に乗せる	正常	着床時手を挟まれる	4	1	3	6	II	手かぎを使用する	4	1	3	6	II	
4	ターゲット上の重りを除去する	正常	重りが滑り易いので手から落下し足元に落ちる	4	2	6	12	III	・重りの中央に取っ手を付け持ちやすくした。	4	1	1	6	I	指が入るよう改善する事
5	ターゲットに前処理剤を塗布する	正常	中心付近が遠いのでホットプレート上に倒れこむ・手がつく	4	2	3	9	II	長い柄(治具)を使用する(要製作)	4	2	1	7	II	
6	ターゲット上の前処理剤を凝固させる	正常	スポンジを使用し凝固させるため、前処理剤が飛散する	4	1	6	11	III	保護具(めがねは目の周りを完全に覆うタイプ)を着用して作業を行う	4	1	1	6	I	めがねは目を完全に覆うタイプが必要
7	ターゲットにロウ材を塗布し酸化膜・凝固膜を除去する	正常	中心付近が遠いのでホットプレート上に倒れこむ・手がつく	4	2	3	9	II	柄の長いピンナーを使用しターゲットにロウ材を塗布する。長い凝固膜除去道具を使用する(要製作)	4	1	1	6	I	
8	バックアッププレートにロウ材を塗布し酸化膜・凝固膜を除去する	正常	中心付近が遠いのでホットプレート上に倒れこむ・手がつく	4	2	3	9	II	長い凝固膜除去道具を使用し2人作業とする(要製作)	4	1	1	6	I	
9	ボンディング	正常	反転中ターゲットが傾き落下する	4	1	6	11	III	ターゲット掴み端を反転前に必ず確認し、反転中は退避を徹底する	4	1	1	6	I	退避する
10	位置合わせ	正常	ターゲットを押す際(位置決め)手が滑り、ホットプレート上に倒れこむ・手が付く	4	2	3	9	II	直接ターゲットを触らない道具を使用しターゲットを押す(要製作)	4	2	3	9	II	
11	重りを乗せ装着	正常	重りが滑り易いので手から落下し足元に落ちる	4	2	6	12	III	・重りの中央に取っ手を付け持ちやすくした。 ・中央部の重りを1枚板としホイスを使用	4	1	1	6	I	指が入るよう改善する事



作業手順④⑩  
リスク評価12ポイント(III)⇒6ポイント(1)



取手を敷けた ⇒



クレーン吊り重り